

植物防疫基礎講座：アブラムシ類の見分け方(9)

花きのアブラムシ類(3)一年生草花

元 大阪府立食と緑の総合技術センター き むら ゆたか
木 村 裕

草花のアブラムシ

1 アゲラタム

ユキヤナギアブラムシ *Aphis spiraeicola* PATCH

春季、淡緑色で、角状管の黒いアブラムシが新葉・蕾などに時々発生する。吸汁によって新葉の葉縁が表側に巻き込む。

2 インパティエンス (ハウセンカ)

(1) 角状管は黒色で短い……………ワタアブラムシ

— 角状管は淡緑色または淡赤褐色で長い

……………モモアカアブラムシ

ワタアブラムシ *Aphis gossypii* GLOVER

暗緑色（または黄色）のアブラムシが時々花梗に寄生する。現在のところニューギニアインパティエンスで発生を確認したのみで、葉や茎での寄生は見えていない。

モモアカアブラムシ *Myzus persicae* SULZER

淡緑色（または淡赤褐色）のアブラムシが時々新芽や新葉に群生してわい化させ、ときには株全体を衰弱させて枯死させる。

3 カタナンケ

モモアカアブラムシ *Myzus persicae* SULZER

春季、淡赤褐色（または淡緑色）で、角状管の長いアブラムシが新葉に時々発生する。

4 カンパニュラ

ユキヤナギアブラムシ *Aphis spiraeicola* PATCH

春季、淡緑色で、角状管の黒いアブラムシが茎に時々群生する。

5 キンギョソウ

モモアカアブラムシ *Myzus persicae* SULZER

体色が淡緑色または淡赤褐色で、やや長い角状管をもったアブラムシが時々新芽・新葉・花弁に寄生する。

6 キンセンカ

(1) 体色は淡緑色。角状管は非常に短く、基部半分が淡緑色で先端部半分は黒色

……………ムギワラギクオマルアブラムシ

— 体色は暗緑色または黄色。角状管は黒色

……………ワタアブラムシ

ムギワラギクオマルアブラムシ *Brachycaudus helichrysi* (KALTENBACH)

春季、新葉・茎・蕾・花弁等に群生する。多発すると、茎や新葉上に淡緑色・粒状のヤニ状物が噴き出る。

ワタアブラムシ *Aphis gossypii* GLOVER

春季、茎・葉・花弁等に群生し、しばしばすす病を誘発する。多発時には灰色の幼虫（有翅型になる）が多い。

7 ゴテチャ

(1) 体色はチョコレート色……………ハゼアブラムシ

— 体色は暗緑色～緑色～黄色……………ワタアブラムシ

ハゼアブラムシ *Toxoptera odinae* (van der Goot)

春季、蕾や花弁に時々発生する（宿根性草花のシランの項参照）。

ワタアブラムシ *Aphis gossypii* GLOVER

春季、新芽・葉・茎・蕾等に時々多発する。吸汁を受けた新葉は小さくなってねじれる。

8 クリサンセマム・パルドーサム (ノースポール)

春季、開花期に茎・花梗・蕾・花弁などにいろいろのアブラムシが寄生し、かつ2種以上の種が同一箇所でも混発するので同定はかなり難しい。

(1) 体色は暗緑色……………ワタアブラムシ

— 体色は淡赤褐色……………モモアカアブラムシ

— 体色は淡黄色～淡緑色……………(2)

(2) 角状管は黒色……………(3)

— 角状管は淡緑色……………(5)

(3) 角状管は非常に短く、基部半分は淡緑色～淡黄色……………ムギワラギクオマルアブラムシ

— 角状管はすべて黒色……………(4)

(4) 体色は淡緑色（または淡黄色）で、尾片は黒色……………ユキヤナギアブラムシ

— 体色は黄色で、尾片は黒くない……………ワタアブラムシ

(5) 角状管は長く、中央の少し後方の部分が膨れる……………モモアカアブラムシ

— 角状管は非常に長く、先端に向かって細くなる……………チューリップヒゲナガアブラムシ

……………ワタアブラムシ

9 ケイトウ

ワタアブラムシ *Aphis gossypii* GLOVER

Identification of Aphids on flowers (Annuals and Biennials).

By Yutaka KIMURA

(キーワード：アブラムシ，無翅虫，検索表，花き類)



図-1 クリサンセマム、デージーに寄生するアブラムシの角状管と尾片

6~7月ごろ、新葉の葉裏に暗緑色のアブラムシがまれに発生する。吸汁を受けた葉は縮れて裏側に巻き込む。

10 コスモス

ユキヤナギアブラムシ *Aphis spiraeicola* PATCH

7~10月、新葉に黄緑色~緑色のアブラムシがごく普通に発生する。寄生を受けた新葉は黄変または赤変してねじれる。

11 シロタエギク

ムギワラギクオマルアブラムシ *Brachycaudus helichrysi* (KALTENBACH)

新芽・新葉に淡緑色のアブラムシが時々寄生する。

12 サルビア

(1) 体色は暗緑色または黄色。角状管は黒色で短い
.....ワタアブラムシ

— 体色は淡緑色~緑色。角状管は淡緑色で非常に長い
.....チューリップヒゲナガアブラムシ

チューリップヒゲナガアブラムシ *Macrosiphum euphorbiae* (THOMAS)

淡緑色・大型で、体長よりも長い触角をもったアブラムシが花穂・がく片に寄生するが、発生はまれである。

ワタアブラムシ *Aphis gossypii* GLOVER

暗緑色(または黄色)のアブラムシが花穂・がく片・花弁などでしばしば多発するが、葉にはほとんど寄生しない。

13 サイネリア

チューリップヒゲナガアブラムシ *Macrosiphum euphorbiae* (THOMAS)

開花期に淡緑色で、体長よりも長い触角をもった大型のアブラムシが花梗・蕾で時々発生する。

14 ジニア(百日草)

(1) 色は暗緑色(または黄色)。角状管は黒色で短い
.....ワタアブラムシ

— 体色は淡緑色~緑色。角状管は淡緑色で非常に長い
.....チューリップヒゲナガアブラムシ

チューリップヒゲナガアブラムシ *Macrosiphum euphorbiae* (THOMAS)

淡緑色で、体長よりも長い触角をもった大型のアブラムシが葉裏・花梗で時々発生する。

ワタアブラムシ *Aphis gossypii* GLOVER

暗緑色または黄色のアブラムシが新芽・新葉・蕾・花弁で発生し、多発するとすす病も発生する。

15 セントポーリア

モモアカアブラムシ *Myzus persicae* SULZER

体色が淡緑色または淡赤褐色で、やや長い角状管をもったアブラムシが時々花弁に寄生する。

16 スイトピー

(1) 体色は黒色.....マメアブラムシ

— 体色は淡緑色.....エンドウヒゲナガアブラムシ

マメアブラムシ *Aphis craccivora* KOCH

黒色のアブラムシが葉・つる・蕾・花弁などにごく普通に発生し、群生する。

エンドウヒゲナガアブラムシ *Acyrtosiphon pisum* (HARRIS)

無翅胎生雌虫は長さ3~3.5mm、淡緑色。触角は体長よりも長く、第3節基部付近に3個前後の二次感覚器がある。角状管は細くて非常に長く、先端部は黒い。尾片は細長く尖り、約10本の毛がある。

葉・つる・蕾・花弁などにごく普通に発生する。

17 スターダスト

(1) 体色は黒色。角状管は短い.....マメアブラムシ

— 体色は淡緑色。角状管は細くて長い

.....チューリップヒゲナガアブラムシ

マメアブラムシ *Aphis craccivora* KOCH

春季、新芽・新葉・花茎・蕾などに時々発生し、群生する。

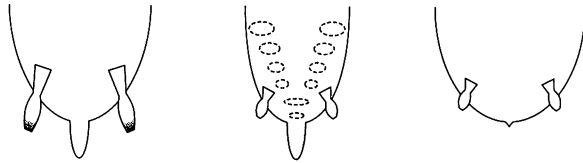
チューリップヒゲナガアブラムシ *Macrosiphum euphorbiae* (THOMAS)

春季、花茎に時々発生するが多発することはない。

18 ストック

(1) 白色のロウ状の粉で覆われている

.....ダイコンアブラムシ



モモアカアブラムシ ニセダイコンアブラムシ ダイコンアブラムシ

図-2 ストック、ハボタンに寄生するアブラムシ類の角状管と尾片

- 白っぽい粉で若干覆われていることもあるが白色ではない……………(2)
- (2) 体色は淡赤褐色または淡緑色。角状管は長い……………モモアカアブラムシ
- 体色は暗黄緑色。角状管は短い……………ニセダイコンアブラムシ
- ダイコンアブラムシ *Brevicoryne brassicae* (LINNE)

無翅胎生雌虫は長さ 2.2~2.5 mm, 体色は暗黄緑色~暗緑色であるが体全体がロウ質の白い粉で覆われているので白く見える。胸部・腹部背面には小さな暗色の斑紋がある。角状管は灰黒色で非常に短い。尾片は小さく 6 本前後の毛がある。

春季, ごく普通に発生して新葉や花房に群生する。多発すると寄生を受けた新葉や花房は変形してねじれる。

ニセダイコンアブラムシ *Lipahis erysimi* (KALTENBACH)

無翅胎生雌虫は長さ 1.8 mm 前後, 暗黄緑色でわずかに白い粉をつけている。腹部背面には対になった黒色の横斑が並ぶ。角状管は短くて暗色。尾片は小さくて 5~6 本の毛がある。

秋季, 新芽・新葉に時々発生し, 群生する。

モモアカアブラムシ *Myzus persicae* SULZER

淡緑色または淡赤褐色で角状管の長いアブラムシが葉裏に寄生するが, 多発することはない。

19 デージー

春季, 開花期になると下記の 5 種類のアブラムシがごく普通に発生し, 数種のアブラムシがしばしば混発する。種の検索についてはクリサンセマム・パルドーサムの項を参照 (本項 8 参照)。

ムギワラギクオマルアブラムシ *Brachycaudus helichrysi* (KALTENBACH)

体色が淡黄色~淡黄緑色で, 角状管の非常に短いアブラムシである。苗のところに寄生すると葉が葉巻状に内側に巻き込む。開花期には花茎に行列する。

チューリップヒゲナガアブラムシ *Macrosiphum euphorbiae* (THOMAS)

春季, 体色が淡緑色で, 角状管の非常に細長いアブラムシが花茎・がく片に群生する。

モモアカアブラムシ *Myzus persicae* SULZER

春季, 体色が淡赤褐色 (または淡緑色) で, 角状管の長いアブラムシが花茎・がく片に群生する。

ワタアブラムシ *Aphis gossypii* GLOVER

春季, 体色が暗緑色で, 角状管の黒いアブラムシが花茎・がく片に群生する。

ユキヤナギアブラムシ *Aphis spiraeicola* PATCH

春季, 体色が緑色~淡黄緑色で, 角状管の黒いアブラムシが花茎・がく片に群生する。

20 トレニア

ユキヤナギアブラムシ *Aphis spiraeicola* PATCH

秋季, 体色が淡黄緑色~黄色で, 角状管の黒いアブラムシが茎や葉に時々発生する。

21 トルコキキョウ

ワタアブラムシ *Aphis gossypii* GLOVER

体色が暗緑色または黄色で, 角状管の黒いアブラムシががく片や花弁に寄生する。

22 バーベナ

ワタアブラムシ *Aphis gossypii* GLOVER

夏季~秋季, 体色が暗緑色または黄色で, 角状管の黒いアブラムシが新芽・花房のすき間に寄生する。

23 ハルシャギク

ユキヤナギアブラムシ *Aphis spiraeicola* PATCH

体色が淡黄緑色~黄色で, 角状管の黒いアブラムシが茎や葉に時々発生する。

24 パンジー

モモアカアブラムシ *Myzus persicae* SULZER

春季, 体色が淡緑色または淡赤褐色で, 角状管の長いアブラムシが新葉・茎・がく片・花弁等にごく普通に発生する。多発すると吸汁害によって日中葉が萎れる症状が見られる。

25 ハボタン

下記の 3 種類のアブラムシが発生する。種の検索についてはストックの項を参照 (本項 18 参照)。

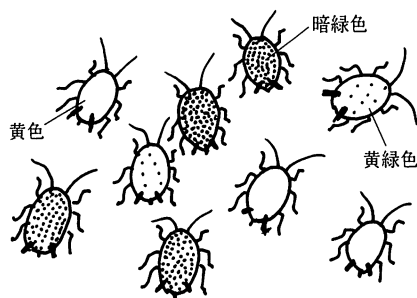


図-3. ワタアブラムシのコロニー：体色の異なるアブラムシが混生

ニセダイコンアブラムシ *Lipahis erysimi* (KALTENBACH)

体色が暗黄緑色で腹部背面に対になった黒い斑紋をつけたアブラムシで葉裏に時々寄生する。

ダイコンアブラムシ *Brevicoryne brassicae* (LINNE)

白色のロウ状の粉で覆われたアブラムシが葉裏に寄生する。春季放置された株の花房で群生しているのがよく見られる。

モモアカアブラムシ *Myzus persicae* SULZER

体色が淡緑色または淡赤褐色で、角状管の長いアブラムシが葉裏に寄生するが、大きな集団をつくることはまれである。

26 ハナタバコ

モモアカアブラムシ *Myzus persicae* SULZER

体色が淡赤褐色または淡緑色で、角状管の長いアブラムシが葉裏・新芽・がく片・花卉等にごく普通に発生する。しばしば多発して花卉に虫の白い脱皮殻が付着する。

27 ムラサキハナナ

ストックやハボタンと同じように3種類のアブラムシが寄生すると思われるが、発生を確認したのはニセダイコンアブラムシのみである。種の検索についてはストックの項を参照。

ニセダイコンアブラムシ *Lipahis erysimi* (KALTENBACH)

体色が暗黄緑色で腹部背面に対になった黒い斑紋をつけたアブラムシで、春季花茎に群生しているのを観察した。

28 プリムラ類

- (1) 体色は暗赤褐色……………モモアカアブラムシ
- 体色は淡緑色～淡黄色……………(2)
- (2) 角状管は中央から少し後方の部分で膨らむ。触角は体長より長くない……………モモアカアブラムシ
- 角状管は先端に向かって細くなる。触角は体長より長い……………(3)

- ……………ジャガイモヒゲナガアブラムシ
- 脚は体色と同じ。角状管は細くて非常に長い……………チューリップヒゲナガアブラムシ

モモアカアブラムシ *Myzus persicae* SULZER
葉・葉柄・花梗などに時々発生する。

チューリップヒゲナガアブラムシ *Macrosiphum euphorbiae* (THOMAS)
葉柄・花梗でまれに発生する。

ジャガイモヒゲナガアブラムシ *Aulacorthum solani* (KALTENBACH)
葉柄に寄生すると言われているが、まだ寄生事例を見ていない。

29 フウセントウワタ

- (1) 体色は鮮やかな黄色。脚は黒色……………キョウチクトウアブラムシ
- 体色は暗緑色(または黄色)。脚は体色と同色……………ワタアブラムシ
- キョウチクトウアブラムシ *Aphis nerii* BOYER de FONSCLOMBE

黄色と黒色の配色が鮮やかでよく目立つアブラムシ。葉・新芽・茎・花房などにごく普通に発生し、しばしば多発して大集団をつくり、すす病も発生する。

ワタアブラムシ *Aphis gossypii* GLOVER

葉裏に時々発生するが、多発することはない。

30 ヒョウタン

ワタアブラムシ *Aphis gossypii* GLOVER

体色が黄色または暗緑色で、角状管が黒いアブラムシが葉裏にごく普通に発生する。しばしば多発して大集団をつくり、葉上には虫の白い脱皮殻が付着し、すす病も発生する。

31 ペチュニア

チューリップヒゲナガアブラムシ *Macrosiphum euphorbiae* (THOMAS)

体色が淡緑色で、細くて非常に長い角状管をもったアブラムシが葉裏にまれに寄生する。

32 マリーゴールド

ワタアブラムシ *Aphis gossypii* GLOVER

体色が暗緑色または黄色で、角状管が黒いアブラムシが花卉のすき間に時々寄生する。多発すると花卉上に白い脱皮殻が付着する。

33 ヤグルマソウ

- (1) 新葉がねじれて奇形になる……………ムギワラギクオマルアブラムシ

- 新葉は正常……………(2)
- (2) 体色が黒褐色で光沢がある
……………ゴボウヒゲナガアブラムシ
- 体色は淡緑色または淡赤褐色……………(3)
- (3) 体色は赤褐色……………モモアカアブラムシ
- 体色は淡緑色～淡黄色……………(4)
- (4) 角状管は非常に短く、先端半分は黒色
……………ムギワラギクオマルアブラムシ
- 角状管は長く、黒くない……………モモアカアブラムシ
ムギワラギクオマルアブラムシ *Brachycaudus heli-*
chrysi (KALTENBACH)

主として新芽・新葉の部分に時々発生する。吸汁害により、新芽はねじれ・叢生状態となる。

ゴボウヒゲナガアブラムシ *Uroleucon gobonis* (MATSUMURA)

無翅胎生雌虫は長さ 3～3.5 mm、体色は黒褐色だがほとんど黒色に見える。触角・脚・角状管・尾片も黒い。触角第 3 節には 40～50 個の二次感覚器がある。角状管は太くて長く、先端の部分には網目模様がある。尾片も長く、約 17 本の毛がある。

新芽・葉・花梗・蕾等に寄生して時々多発する。

モモアカアブラムシ *Myzus persicae* SULZER

葉に寄生すると言われているが、発生事例をまだ見えない。

34 ルコウソウ

ワタアブラムシ *Aphis gossypii* GLOVER

体色が黄色または暗緑色で、角状管が黒いアブラムシが葉・つるに時々発生する。多発すると、葉は早期に褐変して枯死する。

35 ルドベキア

ワタアブラムシ *Aphis gossypii* GLOVER

体色が暗緑色または黄色で、角状管が黒いアブラムシががく片・花弁に時々発生する。

36 ルナリア (ヒメキンギョソウ)

チューリップヒゲナガアブラムシ *Macrosiphum euphorbiae* (THOMAS)

春季開花期に体色が淡緑色で、細くて非常に長い角状管をもったアブラムシが葉・花茎・花房でごく普通に発生し、しばしば多発する。

37 ワスレナグサ

- (1) 花茎がねじれて奇形になる
……………ムギワラギクオマルアブラムシ
- 花茎は正常……………(2)
- (2) 角状管は長い……………モモアカアブラムシ
- 角状管は非常に短い
……………ムギワラギクオマルアブラムシ
ムギワラギクオマルアブラムシ *Brachycaudus heli-*
chrysi (KALTENBACH)

体色が淡緑色で、基部半分が淡緑色、先半分は黒色の短い角状管をもったアブラムシが成長点付近に寄生するため、その部分はねじれて奇形になる。

モモアカアブラムシ *Myzus persicae* SULZER

体色が淡赤褐色 (または淡緑色) のアブラムシが新芽・新葉にごく普通に寄生し、多発すると成長点の部分に虫の集団とともに白い脱皮殻も多数付着する。

38 ワタ

- (1) 体色は暗緑色または黄色。角状管は黒色で短い
……………ワタアブラムシ
- 体色は淡緑色。角状管は淡緑色で細くて非常に長い
……………チューリップヒゲナガアブラムシ
ワタアブラムシ *Aphis gossypii* GLOVER

葉・新芽・がく片・花弁等にごく普通に発生し、しばしば多発する。

チューリップヒゲナガアブラムシ *Macrosiphum euphorbiae* (THOMAS)

幼苗の茎に寄生しているのを観察した。

参考・引用文献

- 1) 森津孫四郎 (1983): 日本原色アブラムシ図鑑, 全国農村教育協会, 東京, 545 pp.
- 2) 田中 正 (1976): 野菜のアブラムシ, 日本植物防疫協会, 東京, 220 pp.
- 3) 上住 泰・西村十郎 (1975): 原色花の病害虫, 農山漁村文化協会, 東京, 469 pp.

！好評の病害虫見分け方リーフレット！

作物細菌病の見分け方

ワタヘリクロノメイガのリーフレット

1 部送料 120 円, 50 部以上のご注文は送料サービス, 200 部以上は 1 割引, 500 部以上は 2 割引

お申し込みは直接当協会へ、前金 (現金書留・郵便為替) で申し込むか、お近くの書店でお取り寄せ下さい。

社団法人 日本植物防疫協会 出版情報グループ 〒170-8484 東京都豊島区駒込 1-43-11

郵便振替口座 00110-7-177867 TEL (03) 3944-1561 (代) FAX (03) 3944-2103 メール: order@jppa.or.jp

A 4 判 16 頁カラー 主要 83 種を収録
定価 945 円税込 (本体 900 円 送料 120 円)
A 4 判 4 頁 (カラー 2 頁+解説 2 頁)
定価 105 円税込 (本体 100 円 送料 120 円)